



### 菊地様の写真

コロナ禍で外出を控えていたなか、入居者様や職員の目を楽しませたのが美しい草花や風景の写真です。撮影者はアウルにご入居の菊地様。撮りためた写真を見せてもらった方々の間で評判となり、現在ではラミネート加工した写真を



館内に展示しています。展示内容は随時変更され、観る人を喜ばせています。

今年傘寿を迎える菊地様は、19歳の時に初めてカメラを買い、以来60年にわたり写真を趣味としています。お気に入りの1点は、2023年10月にエドウィン・ダン記念公園で撮影した紅葉の夕景(右上写真)。その場の空気質感まで伝わってくるようです。

写真を撮るために散歩や外出をするという菊地様。趣味がお元気の秘訣といえそうです。



▲一日に何度も会いに来てくださるりりこファンの入居者様

### スタッフ リレーエッセー

#### 年賀状への思い



警備員 菅野 淳一

年々減ってきている我が家の年賀状の中に、50年以上やり取りしていた友達がいきました。学校を卒業して以来、顔を合わせたり連絡を取ったことは一度もなく、年1回の年賀状だけがお互いの音信を確認するツールでした。

昭和・平成・令和と年号が変わり年を重ねていく中で、彼からの一言は「頑張っているか」から「体に気を付けて」に替わり、私も同じような言葉を毎年書き添えていました。

70歳を過ぎ、いずれは出せなくなる時が来る、いやまだ続けられるのではと思いが交錯しましたが、元気なうちにと思いきって年賀状の終活を伝えることにしました。去年11月に私の気持ちをしたためた手紙と現在の私の写真を彼に郵送し、出し終わってなにかホッとしたような、そしてなにかしらの寂しさが残りました。年賀状を通した彼とのやり取りはいい思い出としてこれからも忘れることはありません。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

### アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3  
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133  
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内  検索 <http://www.owlcourt.jp>



# ふくろうの家 だより

その66  
2024年1月

●発行/株式会社私の青い空  
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



## 長楽萬年

代表取締役 武田 治信

新しい年、令和6年、2024年を迎えました。謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

今年、ひそかに楽しみにしているのは、日銀券のデザインが2004年以来20年ぶりに刷新されることです。新一万円札の肖像には、日本資本主義の父と称される渋沢栄一が描かれます。彼が重視した「道徳経済合一説」は、企業が利潤を追求する時、その根底には道徳が必要であるという考え方です。自分が儲かることを優先するのではなく公益のためにと行動し続けた生き様は、実にドラマチックです。

五千円札には、女子高等教育に生涯を捧げた津田梅子。明治4年に6歳で女子留学生として渡米し、11年間という歳月をアメリカで過ごした彼女は、日本の結婚観に否定的で、舞い込

む縁談をことごとく断り、「女子英学塾」(のちの津田塾大学)を創立し、その思想は今も脈々と受け継がれています。

そして千円札には北里柴三郎。のちに日本最初の結核専門病院を開設し、ペスト菌を発見するなど、日本の医学発展のために大いに貢献しました。医学を学び始めた頃の彼は「医者と坊主だけにはなりたくない」と語学に精を出し、オランダ人医師の恩師から、「不治の病は多く存在するが、細菌が原因の病は必ず治療することが出来る」と諭され、医学を学ぶ意義を見出していったのでした。

どの人生も波瀾万丈で魅力的です。偉大な先人たちを偲び、新しいお札にワクワクしながら、今年が良い年となることを祈ります。

年ごとに思い出重なる四季の歳時記  
写真で振り返る2023年



春

コロナに注意しつつ  
桜の季節はようやく  
車から出たのお花見



お花見ドライブ



夏

猛暑もなんのその  
お祭りやイベントで  
夏らしさを満喫



サマーフェスタ

共に齢を重ねる  
仲間がいる喜び

ちょうど10年前の本紙『ふくろうの家だより』その29(2014年1月発行)は、「写真で振り返る2013年」という記事でした。もしお手元があれば、ぜひ見比

べてください。コロナ禍を経た2023年は外部の来訪が減少。入居者様の平均年齢が上がり、座っての行事が増えました。

入居者様も職員も一緒に年を取ります。数年前に生まれた職員の子どもは、2023年の敬老会に届いたビデオレターに園

児として映っていました。アウルでは同じ屋根の下で皆さんが思い出を共有しながら年齢を重ねます。ひとり暮らしとは異なる喜びがここにあります。

10年前も今も変わらないのは皆さんの笑顔。2024年も笑顔あふれる年になりますように。



運動会



白組



クリスマス会

冬

薪ストーブのぬくもり  
華やぎと味わい  
冬の行事は五感を刺激



※クリスマス会の写真は2022年のものです。2023年は3年ぶりにレストランを会場とし、12月23日(土)に行いました。



●9/14(木)

敬老会のビデオレター

ここ数年、敬老会のお楽しみは認可保育所「遊・Wing」の子どもたちから届くビデオレターと手作りプレゼント。練習を重ねて撮影した歌や踊りに入居者様は目を細め、画面と一緒に歌を口ずさむひとこまもありました。



●9/29(金)

お月見にも猛暑の影響

毎年ススキを飾っている中秋の名月ですが、2023年は夏の猛暑の影響でススキが育ち過ぎ、十五夜の頃には穂が開き、実った種の毛でふわふわな初冬の趣。やむなく職員が季節の風情を求めてお月見飾りを手作りしました。



●10/11(水)・12(木)

紅葉狩りドライブ

紅葉の名所を訪ねた秋のドライブ。2班に分かれて、それぞれ滝野すずらん丘陵公園とさっぽろ湖に行きました。途中で立ち寄った真駒内滝野霊園では、世界的建築家・安藤忠雄氏設計の大仏像に感嘆の声が上がりました。



秋

食欲の秋、運動の秋  
季節の訪れを  
恒例行事に実感

